

麻生太郎副総裁の衆議院選挙 街頭演説内容に抗議する委員長談話

昨日25日に、麻生太郎副総裁は北海道での衆議院選挙応援街頭演説で、「地球温暖化は悪いことばかりではない」「温暖化したおかげで北海道のコメがうまくなった」と発言し、「昔は、やっかいどう米と言うほどだったが、今はやたらうまいコメを作るようになった」「農家のおかげ、農協の力か、違う。温度が上がったからだ」などという言葉を発表した。

このことは、国連でも採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の実現に向け、政府が2050年までに二酸化炭素（CO₂）の排出量を実質ゼロにする「脱炭素社会」を目標に掲げているなかで、地球温暖化を肯定するような言葉を発することは、自民党の重要ポストにある副総裁の発言としては有るまじき由々しき事態と言わざるを得ない。また、地球温暖化防止対策に取り組んでいる企業や国民にとっても耳を疑うような発言として捉えられる。

更に、全国でも北海道米が高い評価を得ているのは、全道挙げて米の品種改良を重ね、官・民・農が一体となって協力し、“北海道ブランド米”としての地位を確立した結果であり、今までの北海道米を作る生産者の努力と技術を蔑ろにするような発言は断じて許されない、強く抗議する。

2021（令和3）年 10月 26日

北海道農民連盟
委員長 大久保 明義